

アイ・ドラゴン4の可能性

# アイ・ドラゴン4の設置・普及

- ①新機種アイ・ドラゴン4発売。日常生活用具としての指定や旧アイ・ドラゴンの交換・普及の取り組み
- ②加盟団体への「目で聴くテレビ」担当者の設置・説明会
- ③24時間テレビチャリティー委員会より全国の施設等に寄付
- ④最低4,000件以上の受信料納入促進と、認定NPO法人の認定条件である年間100人以上の賛助会員を確保
- ⑤24時間供給のコンテンツホルダー
- ⑥視聴するために国際標準規格H.702に基づくアイドラゴン4の全国的な普及
- ⑦昨年KBS京都で、放送局の番組に字幕、手話、音声解説をつけるための実験実施

# 災害時リアルタイム手話放送の制度化

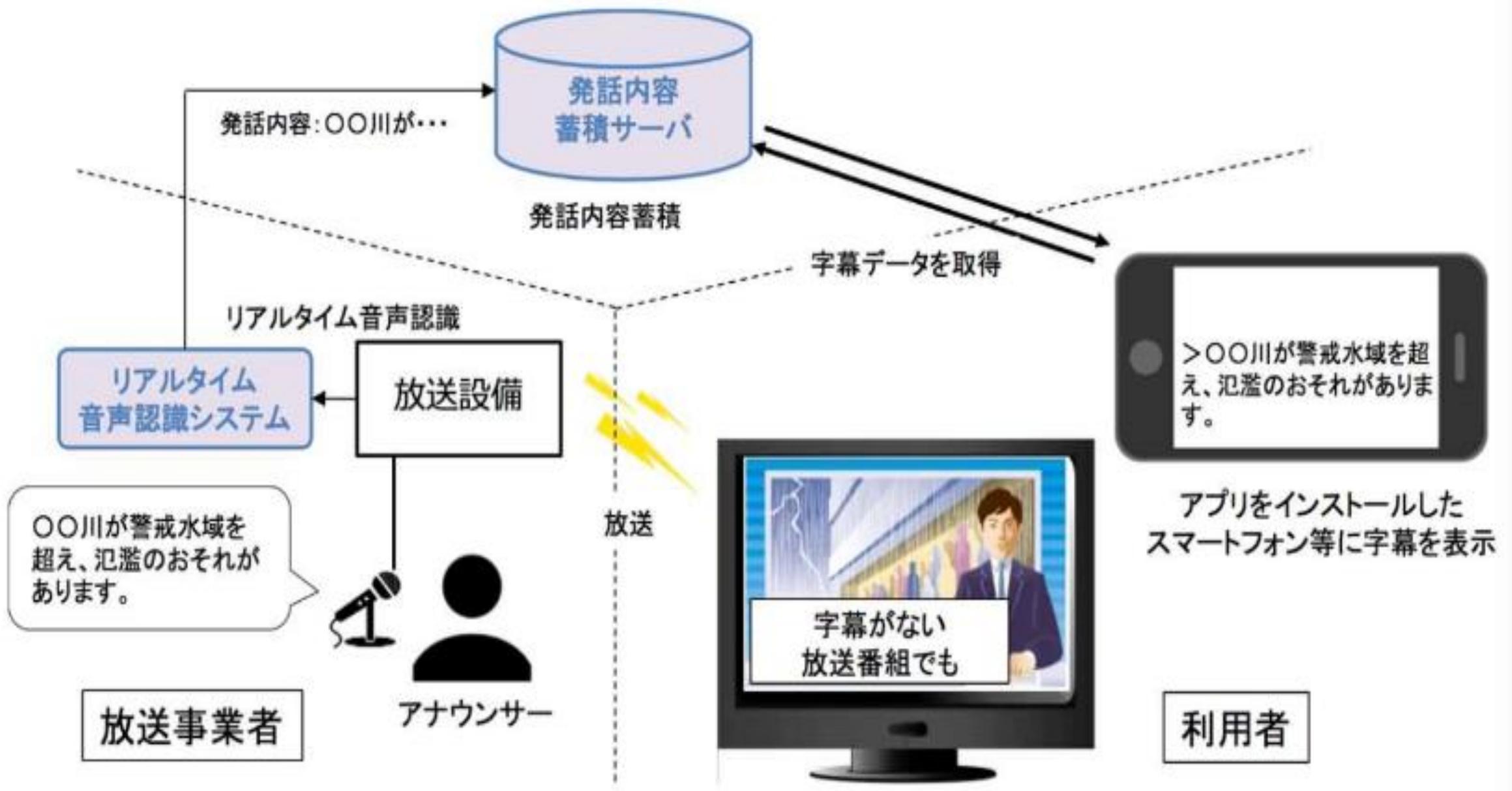
- ①手話通訳手配等が機構の負担となるために財政を圧迫
- ②命や生活をまもる「災害時リアルタイム手話放送」の国による実施を求めて、内閣府及び厚労省に対し制度化を要望

# NHKの国会中継の字幕放送

- ①新たに策定された「放送分野における情報アクセシビリティに関する指針」の背景
- ②国会中継に字幕付与⇒聴覚障害者の参政権保障の進展
- ③次は国会中継に手話言語による情報保障を求める

# セカンドスクリーン

- ①放送する映像とは別にネットワーク経由で字幕を配信し、映像と字幕が別々に表示される放送方式
- ②視聴の際に2画面を見なければならず、長時間の視聴に不向き
- ③アイ・ドラゴン4と同じく映像と字幕・手話が同画面に入るワン・スクリーン方式が望ましい
- ④IPTVを活用したシステムの推進・普及



## <今後の考え方>

- ①セカンドスクリーン方式ではなく、世界標準規格であるアイドラゴン4を活用した字幕、手話、音声解説を付与する実験も行うこと
- ②アイドラゴン4による字幕・手話・音声・解説付与を放送局の付与実績としてカウントすること
- ③緊急災害時視聴覚障害者に対する情報保障として、気象庁などの緊急災害信号を「目で聴くテレビ」に供給すること

## <デモ>

- ①H.702に沿って手話、字幕（日本語、英語）を行う
- ②和歌山県の高齢聴覚障害者施設「きのくにの手」に配置された、緊急時情報を手話で自動的に表示するアイドラゴン4のシステムの映像公開